



医療法人 善真会 しまぶくろ歯科医院

理事長より

今月から保険点数改正があり、保険診療の内容が変更になっています。これまでと同じ診療内容であっても多少、窓口でお支払いいただく一部負担金が変わってくることもありますので、ご理解ください。国の医療行政の方針に従って、2年に1回このように内容が更新されます。高齢化に伴い医療介護の国家予算は増やしたいところですが、国の財政は厳しく、かろうじてマイナスにはならなかったものの、厳しいです。診療に必要な材料費、感染対策費用、光熱費などは他業種と同様このところの物価高で経費は増加しても、保険診療の支払い報酬をいただく中で変わらぬ医療を提供していかねばなりません。

スタッフにも十分な昇給ができない中、今回は人件費に充当するための増点がありました。歯科医療の国民の健康寿命への寄与が、スタッフにもチーム医療の担い手として期待されての点数改正であろうかと、受け止めています。皆様のお口の健康を守り、ひいては健康長寿の実現に寄与するという使命を果たせるよう、皆で頑張っ

私たちは安心の歯科医療
と提供し皆様の幸せな
生活の一助となれること
を喜びとします

しまぶくろ歯科医院

『pHと虫歯の関係』

歯科医師：島袋 善友

みなさま初めまして、去年から当院にて働かせていただいております、歯科医師の島袋善友と申します。まだまだ未熟ではございますが、よろしく願いいたします。

さて、「pH」という言葉を知っていますか。理科の授業を思い出す方もいるかもしれませんが。pHとは液体の水素イオン濃度を0~14の数字で表したもので、pH7が中性、7未満が酸性、7より大きいとアルカリ性と分類されます。例えば水はpH7で中性にあたります。虫歯菌が糖から作り出す酸によってpHが低い環境ができると、歯の表面のエナメル質を溶かしてしまいます。これが虫歯で穴が開く原因です。そのため細菌の塊であるプラークの除去、餌となる糖を減らすことが重要になります。

また、食べ物自体にもpHの高い低いがあり、基本は酸性です。しかし、唾液には緩衝作用という口の中のpHを一定に保とうとする働きや初期の虫歯を修復する働きがあります。これにより飲食物によって酸性に傾いた口の中のpHを中性に戻してくれます。しかし、唾液の働きが追い付かないほどのペースで間食したり、pHが低いもの（例えばワインや炭酸飲料）を摂り過ぎることで、虫歯を作りやすい環境を食習慣で作ってしまいます。虫歯予防のためにもお気を付けてください。



『夢の歯生え薬』

歯科医師：鎌谷 雄之

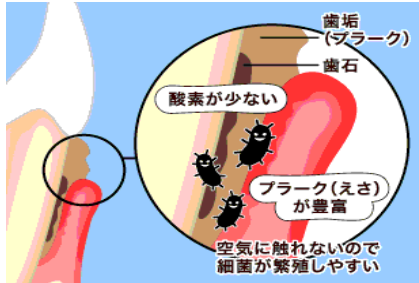
先日、生まれつき一部の歯が生えない先天性の無歯症の患者向けに開発している薬の治験が9月に始まるという報道がありました。特定のタンパク質が歯の成長を止める働きがあることが発見され、このタンパク質の機能を阻害する抗体を開発し、この薬によって歯の成長を促すことで歯が生えてくるということで、将来的には虫歯などで歯を失った人にも応用したい考えもあるようです。分子生物学という分野の発達により、無理だと思われた薬で歯が生えてくるという夢のようなことができるかもしれません。すごい時代になってきたなと思います。ただ、薬で歯が生えてくるからと日々のケアが疎かにならないかと少し心配にもなります。夢のような薬は、今はまだ完成していないので、日々のケアを怠らないようにしましょう。

『心筋梗塞と歯周病の関係』

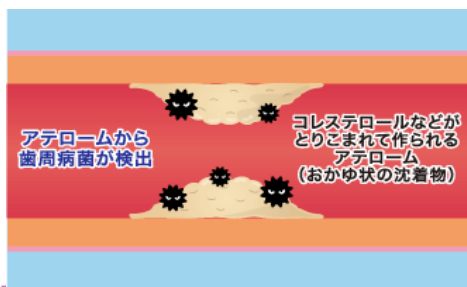
近年、重度の歯周病がある人ほど動脈硬化による心臓病が多くなるという事がわかってきました。また、動脈硬化の部分から歯周病菌が発見されたという報告もされています。

～歯周病菌が心筋梗塞を引き起こすまで～

① 菌が増えると、体は菌が体内に侵入するのを阻止すべく、免疫反応が起きます。しかし治療をせずに放置すると、歯周病菌は歯肉の毛細血管から血行にのって全身に回ります。



② 血行にのって侵入した菌が心臓血管に住み着きます。そこでアテローム性プラークを形成します。アテローム性プラークの中で菌は血管壁の炎症を悪化させ血管壁の細胞を増殖させて、より血管を狭めるといふ悪さをします。アテローム性プラークは粥状の体積物です。歯周病菌はそこで体積物形成を促進し、じわじわと血管を狭めていきます。



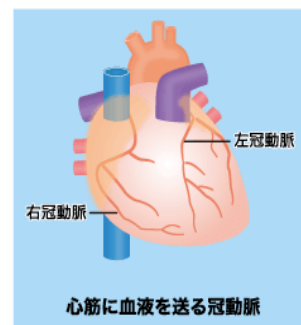
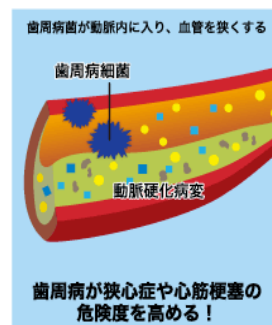
歯科衛生士：西端 隆子

③ 心臓の冠動脈の血行が滞ると心臓に酸素や栄養がいきわたらなくなり、心筋がダメージを受け、狭心症や心筋梗塞になってしまいます。



このように歯周病は心筋梗塞にも深く関係しています。

普段から血圧、中性脂肪、コレステロール値が高い方は歯周病をきちんと治療して、心筋梗塞のリスクを低くしていかななくてはなりません。



歯周病を防ぐと、狭心症や心筋梗塞の予防につながる!

